

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-クロロトルエンの藻類 (*Selenastrum capricornutum*) に対する生長阻害試験

試験番号

9 B 4 4 4 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 201 「藻類生長阻害試験」 (1984年) に準拠して実施した。

- 1) 被験物質: *p*-クロロトルエン
- 2) 暴露方式: 止水式 (密閉), 振とう培養 (100rpm)
- 3) 供試生物: *Selenastrum capricornutum* (ATCC22662)
- 4) 暴露期間: 72時間
- 5) 試験濃度 (設定値):
対照区, 助剤対照区, 1.00, 1.70, 2.90, 5.00, 8.55, 14.6, 25.0 mg/L
(公比: 1.7, 助剤濃度一定: 50 mg/L, 2-メチキタールおよびHC0-40使用)
- 6) 試験液量: 100 mL (OECD培地) / 容器
- 7) 連数: 3 容器 / 濃度区
- 8) 初期細胞濃度: 1×10^4 cells/mL
- 9) 試験温度: 23 ± 2 °C
- 10) 照明: 4000 lux (±20%の変動内, フラスコ液面付近) で連続照明
- 11) 分析法: HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が開始時において設定値の±20%を超えたものがあったため、下記の生長阻害濃度の算出には測定値を採用した。

2) 生長曲線下面積の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 EbC50 (0-72) : 4.91 mg/L (95%信頼区間 : 4.10~5.87 mg/L)
最大無作用濃度 NOECb (0-72) : 1.71 mg/L

3) 生長速度の比較による阻害濃度

50%生長阻害濃度 ErC50 (24-48) : 6.40 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)
最大無作用濃度 NOECr (24-48) : 2.78 mg/L
50%生長阻害濃度 ErC50 (24-72) : 6.38 mg/L (95%信頼区間 : 算出不可)
最大無作用濃度 NOECr (24-72) : 2.78 mg/L